

# 第158回 組合会が開催されました

平成30年2月20日(火)、「奈良県産業会館」において第158回組合会が開催されました。

議第3号の平成30年度事業計画及び予算(案)の議決が行われたほか、各議案とも慎重な審議が行われ原案どおり議決されました。



## 第158回 組合会

- 日程第1報第1号 理事長専決処分とした奈良県市町村職員共済組合定款の一部変更の報告と承認について
- 日程第2報第2号 理事長専決処分とした奈良県市町村職員共済組合貸付規則の一部変更の報告と承認について
- 日程第3議第1号 平成29年度変更事業計画及び予算(案)について
- 日程第4議第2号 奈良県市町村職員共済組合定款の一部を変更(案)することについて
- 日程第5議第3号 平成30年度事業計画及び予算(案)について

## 新 理事の紹介

1月17日に市町村長側議員における理事補欠選挙が行われ、今中 富夫氏(上牧町長)が理事に選出されました。

# 平成30年度 事業計画及び予算の概要について

平成30年度事業計画及び予算は下表をもとに計上しており、各経理の概要は次頁以降をご覧ください。

## 平成30年度事業計画・予算の基礎数値

### ○地方公共団体の数 (平成30年度末推計)

市	町	村	一部事務組合等	計
12	15	12	30	69〔±0〕

### ○組合員数・被扶養者数・標準報酬の月額・標準期末手当等の額 (平成30年度末推計)

組合員種別	組合員数	被扶養者数		標準報酬の月額 (平均標準報酬月額)		標準期末手当等の額	
		組合員 1人当たり	組合員 1人当たり	長期	短期	長期	短期
一般組合員	12,433	11,545	0.93	4,682,687 (376,633)	4,762,189 (383,028)	18,864,184	18,909,834
うち特別職	80	76	0.95	48,080 (601,000)	53,680 (671,000)	203,049	215,763
長期組合員	0	—	—	0 (0)	0 (0)	0	0
市町村長組合員	38	49	1.26	18,848 (496,000)	29,222 (769,000)	103,171	120,762
特定消防組合員	1,674	2,686	1.60	647,838 (387,000)	647,838 (387,000)	2,434,796	2,434,796
市町村長 長期組合員	1	—	—	650 (650,000)	750 (750,000)	3,000	3,062
任意継続組合員	211	186	0.88	—	71,318 (338,000)	—	—
合計	14,357〔300〕	14,466〔▲7〕	1.01	5,350,023〔▲18,685〕 (378,200)	5,511,317〔▲16,954〕 (383,876)	21,405,151〔725,686〕	21,468,454〔703,505〕

(注) ( )書きは、組合員1人当たりの平均標準報酬の月額(単位:円)を示す。

## ○標準報酬月額・標準期末手当等と掛金・負担金との割合

(単位：%)

組合員種別	標準報酬月額及び標準期末手当等の額と掛金との割合 (掛金率)						標準報酬月額及び標準期末手当等の額と負担金との割合 (負担金率)									
	短期掛金	介護掛金	厚生年金保険料		退職等年金掛金	保健掛金	短期負担金	介護負担金	短期的負担金	財政調整負担金	厚生年金負担金		基礎年金公的負担金	退職等年金負担金	経過的長期負担金	保健負担金
			4月～8月	9月～3月							4月～8月	9月～3月				
市町村長職 特別一般職 一特定消防員 専従職員 (経過的長期負担金を除く)	49.00 <sup>㊸</sup>	7.15	89.93	91.50	7.50	1.90	50.65	7.15	0.05	0.20	89.93	91.50	39.00	7.50	0.1035	1.90
市町村長長期組合員 長期組合員	1.72	—	—	—	7.50	1.90	1.72	—	0.05	—	—	—	—	7.50	0.1035	1.90
継続長期	—	—	89.93	91.50	7.50	—	—	—	—	—	89.93	91.50	39.00	7.50	0.1035	—
任意継続	99.65 <sup>㊸</sup>	14.30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### ※その他負担金

・特定健診等負担金	組合員1人当たり	年額 264円
・子ども・子育て拠出金	2.9%(予定)	
・事務費負担金	組合員1人当たり	年額 12,360円 (月額 1,030円)

### ㊸短期掛金について

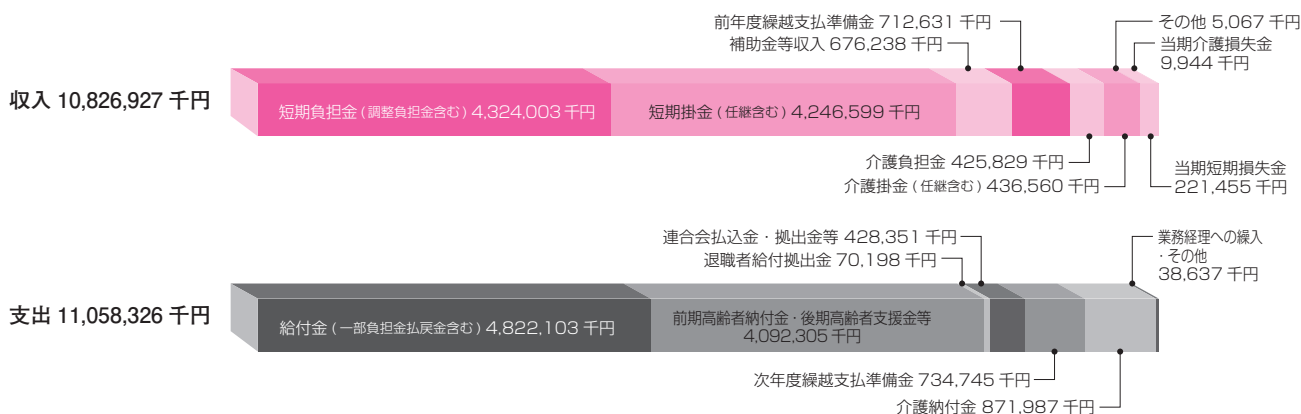
平成30年度は、全国市町村職員共済組合連合会が行う財政調整事業における交付金等を受け事業運営を行う財政調整組合となりました。  
短期掛金は、本来「50.65」ですが、財政調整事業による交付を受けるため「49.00」となります。  
なお、任意継続組合員についても、本来「101.30」ですが、交付を受けるため「99.65」となります。

## 短期経理 (予算)

この経理は、短期給付事業(医療給付や各種給付金などの医療保険制度)と介護保険料徴収に係る経理です。

平成30年度は、収入において主に補助金等収入の増加により189,123円<sup>(注)</sup>の増、支出において主に前期高齢者納付金等の増加により454,220千円<sup>(注)</sup>の増を見込み、231,399千円の当期損失金を生ずる見込みです。その内訳としては、短期部分で当期短期損失金221,455千円、介護部分で当期介護損失金9,944千円が生ずる見込みで、短期部分では前年度より繰り越す欠損金補てん積立金を、また介護部分では前年度より繰り越す介護積立金をそれぞれ取り崩して補てんする見込みです。

### ○短期経理収支内訳 当期短期損失金 221,455千円 当期介護損失金 9,944千円



\*文中の<sup>(注)</sup>の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

## 高齢者医療制度の納付金等に係る特定保険料率は 48.53%

特定保険料率とは、前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、退職者給付拠出金、病床転換支援金の、高齢者医療制度への納付金等に充てるための保険料(財源)率のことです。

皆さんからの掛金等で負担いただく「短期財源(101.30%)」のうち、「48.53%」が、高齢者医療制度を支えるための支出となっています。

高齢者医療制度への支援について理解いただくため、奈良県市町村職員共済組合定款第40条第2項の規定によりお知らせしています。

### 厚生年金保険経理(予算)

この経理は、平成27年10月からの被用者年金の一元化に伴い厚生年金に係る保険料を徴収し、全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」という。）へ払込みを行う経理です。

収入は全て市町村連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 19,770,768千円（負担金 12,143,342千円 ・ 組合員保険料 7,627,426千円）

支出 19,770,768千円（負担金払込金 12,143,342千円 ・ 組合員保険料払込金 7,627,426千円）

.....

### 退職等年金経理(予算)

この経理は平成27年10月からの被用者年金の一元化に伴い退職等年金給付（いわゆる「新三階」）に係る所属所からの負担金・掛金の徴収を行い、市町村連合会へ払込みを行う経理です。

収入は全て市町村連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 1,259,576千円（負担金 629,788千円 ・ 掛金 629,788千円）

支出 1,259,576千円（負担金払込金 629,788千円 ・ 掛金払込金 629,788千円）

.....

### 経過的長期経理(予算)

この経理は、平成27年10月からの被用者年金の一元化に伴い、主に旧職域年金部分への給付、既裁定の公務障害・遺族年金等に係る所属所からの負担金の徴収を行い、市町村連合会へ

払込みを行う経理です。

収入は全て市町村連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 137,010千円（負担金 137,010千円）

支出 137,010千円（負担金払込金 137,010千円）

.....

### 退職等年金預託金管理経理(予算)

この経理は、平成30年4月に設立された経理で、貸付規則の変更に伴い、貸付金の財源が組合の退職等年金預託金管理経理からの借入金とされたことにより設立された経理です。

収入は全て市町村連合会へ払込むこととなるため、損益は生じないこととなります。

収入 4,358千円（利息及び配当金 4,358千円）

支出 4,358千円（支払利息 4,358千円）

.....

### 経過的長期預託金管理経理(予算)

この経理は、平成27年10月からの被用者年金の一元化に伴い、旧職域年金部分に係る積立金を原資とした市町村連合会からの預託金（貸付経理への貸付金や縁故地方債など）の管理・

運用を行う経理です。

収入は全て市町村連合会へ払込むこととなるため、損益は生じないこととなります。

収入 16,898千円（利息及び配当金16,898千円）

支出 16,898千円（支払利息16,898千円）

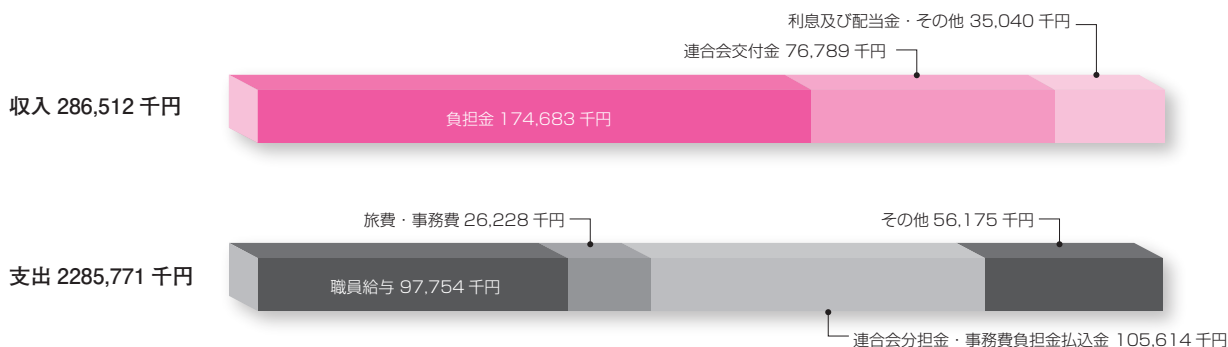
## 業 務 経 理 ( 予 算 )

この経理は、短期給付や長期給付に要する事務費、人件費等を含む共済組合の全体的な経費を賄う経理です。

平成30年度は、収入において組合員一人当たりの事務費が増額されたことにより15,804千円<sup>(注)</sup>の増、支出においては事務費負担金払込金等の増により20,950千円<sup>(注)</sup>の増を見込みましたが、741千円の当期利益金を生ずる見込みです。

なお、今後も年金受給者が増加傾向にあり関連する事務経費も年々増加傾向にあることから、単年度ごとの節約ではなく、計画的に経費抑制に取り組んでいます。

### ○業務経理収支内訳 当期利益金741千円



\*文中の<sup>(注)</sup>の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

## 保 健 経 理 ( 予 算 )

この経理は、組合員やその家族の福利厚生や健康保持・増進などを目的とした各種事業を行う経理です。

平成30年度は、収入において主に掛金・負担金の増加により1,458千円<sup>(注)</sup>の増、支出においては受診勧奨により健康診断等の受診率の向上を見込み6,331千円<sup>(注)</sup>の増を見込みましたが、997千円の当期利益金を生ずる見込みです。

### ○保健事業計画の費用内訳

項 目		平成30年度	項 目		平成30年度	項 目		平成30年度
保健関係	成人病健診	28,713	保養関係	保養施設利用助成	4,000	その他	旅費	326
	大腸検査	2,821		小 計	4,000		事務費	2,730
	精密検査	2,298	ライフ関係	健康関連グッズ等の付与	200		諸謝金	300
	歯科健診	10,836		小 計	200	小 計	3,356	
	婦人科健診	27,742	図書・広報関係	保健関係図書	3,476	保健指導	特定健康診断	9,625
	人間ドック	133,935		広報	571		特定保健指導	9,928
	電話健康相談	1,348		後発医薬品促進	175		小 計	19,553
	メンタルヘルス相談	1,804		小 計	4,222	レセプト審査	2,112	
	Webストレスチェック	3,139	講座関係	健康講座	400	合 計	247,939	
	森林セラピー	200		所属所健康管理課長研修会	100			
	糖尿病の重症化予防	100		所属所健康管理担当者研修会	100			
	健康コンテンツ (Web)	100		メンタルヘルスラインケア研修会	300			
	小 計	213,036		ライフプランセミナー	560			
				小 計	1,460			

○保健経理収支内訳

当期利益金 997千円



\*文中の(注)の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

貯金経理 (予算)

この経理は、貯金加入者の皆さんからお預かりしたお金を、安全かつ効率的に運用することで収益を得て、利息として還元することを目的とした経理です。

平成30年度は、収入において利息及び配当金の減少により139,911千円(注)の減、支出においては4月に年利1.2%への引き下げを行うことから支払利息の減少を見込むことにより4,127千円(注)の減を見込み、85,497千円の当期利益金を生ずる見込みです。

なお、厳しい金融情勢が続く中、資産運用にあたっては、投資銘柄を十分精査し、安定的な収入の確保に努めてまいります。期中においても運用益の状況を勘案して、支払利率の変更を適宜行うことといたします。

○貯金の加入状況見込み

平成30年度末推計				
貯金額	貯金者数	貯金者1人当たりの貯金額	組合員加入率	支払利率
75,383,183千円	9,886人	7,625千円	68.87%	年利 1.2%

○貯金経理収支内訳

当期利益金 85,497千円



\*文中の(注)の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

## 貸付経理（予算）

この経理は、住宅建築等に係る資金が必要なときやご家族の入学・修学にかかる費用が必要なときなどに、共済組合がその資金を融資する（貸し付ける）ことにより、組合員の皆さんの

生活の安定を図ることを目的とした経理です。

平成30年度は、収入において主に貸付残高の減少により貸付金利息が減少することなどにより42,634千円<sup>(注)</sup>の減、支出においても同様の理由により財源である退職等年金預託金管理経理及び経過的長期預託金管理経理へ支払う支払い利息も減少することから38,439千円<sup>(注)</sup>の減を見込むことなどから、10,798千円の当期損失金を生ずる見込みで、前年度より繰越す欠損金補てん積立金を充当します。

なお、貸付事故が多く、それらに対する保険金（債権保全事業）のための保険料となる「連合会払込金」が割高となっていることから、貸付事故の防止のための周知活動を一層強化することとしています。

### ○貸付経理収支内訳 当期損失金 10,798千円



\*文中の<sup>(注)</sup>の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

### ○貸付条件<sup>(※)</sup>・貸付状況

(※)平成30年4月現在

種 類	貸付条件				平成30年度末 貸付金推計			
	利率(年)	最高限度額	償還期間	措置期間	件 数	貸付金額	割 合	
普通貸付	1.26%	2,000千円	120月	一月	170件	100,000千円	6.14%	
住宅貸付	1.26	18,000	360	—	472	1,216,000	74.63	
災害貸付	家財	0.93	2,000	120	—	1	1,065	0.01
	住宅	0.93	18,000	360	—	3	2,935	0.19
	再貸付	0.93	19,000	360	—	0	0	0.00
在宅介護対応住宅貸付	1.00	3,000	330	—	25	26,000	1.60	
特別貸付	医療	1.26	1,000	120	—	1	1,200	0.08
	入学	1.26	2,000	120	—	84	42,400	2.61
	修学	1.26	10,800	150	72	201	187,000	11.49
	結婚	1.26	2,000	120	—	47	41,400	2.55
	葬祭	1.26	2,000	120	—	8	11,400	0.70
高額医療貸付	無利息	高額療養費相当額	高額療養費が支給されるとき支給される額より償還する。		0	0	0.00	
出産貸付	無利息	出産費・家族出産費相当額	出産費等が支給されるとき支給される額より償還する。		0	0	0.00	
合 計					1,012	1,629,400	100.00	